

会議録：「第7回恵那市産業振興ビジョン検討部会（商業・観光部会）」

日時：平成29年11月27日（月曜日）13：00～

場所：恵那市役所会議棟中会議室A・B

参加者：別紙参照

1. 開会

2. より長く滞在してもらい、お金を落としてもらうための対策

○事務局 「これまでの部会では、市内の集客できる観光資源を洗い出し、地図上と年間スケジュールに落とし込みました。今回は、観光客により長く滞在してもらい、お金を落としてもらうために必要な対策を考え、ビジョンを導き出したいと考えています。」

① ターゲット別の観光ルート

○事務局 「委員の皆さんに、ターゲット別の観光ルートを考えてもらい、提出いただきました（別紙「ターゲット別の観光ルート」参照）。」

② 観光ルートを地域・季節に落とし込む

○事務局 「ターゲット別の観光ルートを地域・季節ごとに落とし込んで整理してみました（模造紙上で整理）。」

③ 提案の観光ルートを実現するために足りない要素・必要な取り組み

④ 観光資源をつなげるために必要な要素

○事務局 「議題③④について考えていきます。」

○委員の主な意見

- ・春先のお客様では、恵南地域ではおひなさま巡りをする人が多い。そして新緑を楽しむ人。
- ・おばあちゃん市は、定食がメインであり、「季節のものを食べたい」人たちが来てくれる。
- ・高速道路を利用するのではなく、下道で新緑を楽しみながら訪れる人も多い。
- ・桜でまとめたものがないのでは。
- ・提案いただいたルートの中に恵那峡で「桜」、「花見会」などがあるが、そこから他の観光資源へ周遊してもらうために何が足りないか。
- ・桜だけでは見るだけで、お金は落ちない。何か食がないと。
- ・花見と言えばお酒。

- ・春と言えば山菜採り。名古屋からも山菜採りに来る人達がいる。山菜を採り、ワラビならアク抜きを体験し、それを持って帰れるのがいい。値段設定は強気の 5,000 円でも行ける。
- ・食べられるようにしてあげるのは大事である。タケノコ掘りを体験して、アク抜きして持ち帰る。天ぷらなどにしてその場で食べるのもいい。それを誰がやるかが問題。
- ・山菜やタケノコは手入れが大変。地元の人々の協力も必要。イノシシ対策も必要。バーベキューハウスがあればそこで調理して食べてもらうのがいい。
- ・山菜採り等は、地権者の許可も必要となり難しい。
- ・休耕田でワラビを作ってほしいと地権者をお願いしている。ワラビは 1 年中できる。
- ・親子をターゲットとして、夏にはカブトムシやクワガタをつかまえるなど子どもをターゲットにした里山体験があってもいい。
- ・自然のものを取るのは大変だけど養殖できるといい。
- ・環境事業者の土を使用するといい。養殖はできる。
- ・今の時代、自分たちが旅行をするときに観光ルート案内を見るだろうか。カブトムシ捕りなら「カブトムシ」で検索する。
- ・ラ・フォーレ福寿の里の近くで川遊びができると言っていたが、そこで「マスつかみ」「ウナギ釣り」などをやるといい。カブトムシを捕まえることもできるようにすれば、子どもの思い出の場所となる。単発のコースはできるが、参加したいと思えるコースを作らなければいけない。
- ・桜は自分が儲からない。誰が誰をターゲットとするのか。
- ・観光客は満足度を求めて来る。
- ・山菜採り→調理・食べる→見て→お土産購入→帰る
- ・笠置山の栗園はたくさん栗が採れたと聞いた。それを持って帰るだけではなく、その場で、釜を使って栗おこわを炊く。美味しい炊き方など教える。その場で「体験」できると嬉しい。体験ができることをコースに入れないと次につながらない。保健所の手続きなどは、後からクリアしていけばよい。「見る・食べる・遊ぶ」をセットに。
- ・シーズンごとに仕組みを 3 つ程度、3 地区程度につくる。
- ・四葉のクローバーは苗があり、人工的に生殖させて売りにしているところがある。土岐市の紅葉は、地元の人たちが植えたものであり、人工的につくったものである。
- ・小原の四季桜、紅葉もすごくきれいでお客さんも多い。桜の苗木を配布したりして桜を増やしている。ただ、食べる場所がないのでおばあちゃん市で食事をしていってくれる。
- ・桜は、阿木ダム、矢作ダムにもある。
- ・ダム湖周辺で何ができるのか。
- ・モンゴル村、根の上高原、イワクラ公園、明智のコテージ、東濃牧場などでバーベキューができる。

- ・「とりあえず恵那に行くとか何かある」となるといい。恵那は道のいい田舎。
- ・10人来て半分が「楽しかった」と言ってくれば成功。以前に元気発信事業で「幸せの鐘」を作った。千葉県から結婚式を終了し、ウエディングドレスのまま「幸せの鐘」を鳴らしに来た。
- ・前回の部会で話題に挙がった**三社巡りも、金運、恋愛、長寿などのテーマ**でそれぞれに3箇所ぐらいをつなげるといい。
- ・それをどうやって**情報発信をしていくか**。先々は**観光協会等**につなげていく。
- ・山菜採りのコースはどういったらできるか。
- ・「恵那駅→東濃牧場で山菜採り→昼食→山菜のあく抜き体験→山菜を持ち帰る」コースが考えられる。
- ・これに情報発信が必要。観光協会は何をしなければいけないのか。
- ・山菜については個人所有の土地になるので情報発信は難しい。**バーベキューについては個々の施設が発信**している状況。
- ・山菜は難しいので一旦議論はやめておきましょう。
- ・バーベキューとセットで楽しめるプログラムは何か。
- ・燻製（ベーコン）、ミソ作り、ウオーキング、サイクリング、フットサル、カヌー、トマト狩り、ブルーベリー狩り、エゴマの収穫、囲炉裏で食の体験、お寺体験、陶器作り、マレットゴルフ、桜であれば写真・・・
- ・イワクラの森は、子宝になかなか恵まれなかった方が森の中を1時間程歩いたその後、子宝に恵まれたという話がある。当時はまだ歩けたが、今は整備されていないので整備が必要。整備を地元のNPOなどに話しているがなかなか手が回らない状況。
- ・バーベキューは体験を入れ替えればシーズンごとにできる。誰がやるのか、情報発信はどうするのが課題。
- ・誰がやるかはここで決めなくてもいい。情報発信は、ケーブルTV、メディアを有効活用する。見せていかないと伝わらない。
- ・**熱意のある人がやる**から伝わる。そうでない人がやると全く伝わらない。**後援や承認、認定などで市や会議所が応援**するといい。
- ・若い人たちが自分たちで作っていく。それを市内事業者がお手伝いする。補助金頼りではダメ。スタートの情報発信は一斉に行う必要がある。
- ・**今後はやりたい人たちを募って**やっていく。補助金頼りにならないようにして、市がバックアップしていく。

○事務局 「本日の部会での意見をまとめると、市内にはたくさんの観光資源があり、体験メニューも豊富にある。ただし、商品化されていない資源も多く、商品化されているものでもブラッシュアップして売り込む必要があるものも多い。さらには、体験や商品をつなげてメニュー化する母体も必要。売れる商品を創り出すために、やりたい人に集まってもらい、情報発信を行っていく必要がある。

そのために必要な取り組みをビジョンに盛り込んでいきます。早急に事務局でビジョン素案をまとめます。次回は全体部会を開催し、各部会の素案を情報共有します。」

商業・観光部会まとめ

テーマ「より長く滞在してもらい、お金を落としてもらうための対策」

■主な意見

- ・桜や紅葉などの自然と食をセットにする
- ・「山菜採り+アク抜き体験+持ち帰り」「川遊び+マスつかみ体験」「栗拾い+栗おこわの美味しい炊き方教室」など参加したいと思わせるコースを作る
- ・「見る・食べる・遊ぶ」をセットにする
- ・モンゴル村や根ノ上高原などバーベキューができる施設が多数あり、ミソ作りやトマト狩り、囲炉裏での食体験などと組み合わせる商品化できる可能性がある
- ・熱意のある人を集めて事業を始める。市や会議所・商工会は後援や承認、認定で支援する

■ビジョンの方向性

- ・既存商品のブラッシュアップ
- ・商品化されていない観光資源の商品化
- ・体験や商品をつなげてメニュー化する母体の整備
- ・やりたい人が商品づくりに参加できる仕組み
- ・情報発信

3. 次回検討部会の開催について

○事務局 「次回は、平成 29 年 12 月 11 日（月）13：30 から恵那市役所会議棟大会議室で全体部会を開催します。」

4. 閉会